



公益財団法人愛知県文化振興事業団

2023年1月28日(土)  
愛知県芸術劇場  
(公益財団法人愛知県文化振興事業団)  
広報・マーケティンググループ  
☎ 052-955-5506

<Press Release>

報道各位

速報



# AAF 戯曲賞

Aichi Arts Foundation Drama Award

## 受賞作品決定についてのお知らせ

約7時間半にわたる白熱した議論の末、大賞・特別賞が決定！

本日、1月28日(土)に開催しました「第22回AAF戯曲賞」の公開最終審査会において、大賞および特別賞が決定しました。

今回は、91作品を、演劇やダンスなどの創り手として活躍する岩淵貞太(ダンサー・振付家)、鈴木みのり(作家・ライター)、立山ひろみ(演出家・「ニグリノード」主宰・宮崎県立芸術劇場演劇ディレクター)、鳴海康平(演出家・「第七劇場」代表・Théâtre de Belleville芸術監督)、羊屋白玉(演出家・劇作家・俳優・「指輪ホテル」芸術監督・ソーシャルワーカー)の5名が審査。選考にあたり、審査員が全作品を読み終えた後、一次、二次、最終審査と、3回におよぶ審査を実施しました。

最終審査では、観客の前で熱い議論を繰り広げた末、ノミネートした5作品から大賞(1作品)に『とりで』(村社 祐太郎)、特別賞(2作品)に『往復する点P』(川辺 恵)、『廃熱バイパス』(近江 就成)が選出されました。大賞受賞作品の『とりで』は、2024年度以降に当劇場のプロデュース公演として、愛知県芸術劇場小ホールにて上演する予定です。

### AAF 戯曲賞とは…

2000年より開始した、上演を前提とした戯曲賞。当劇場主催のもと、次代を担う劇作家および後世に遺す戯曲を発掘。愛知からの文化の発信・演劇界の振興・発展を目的に、新しい価値観と出会いの場の創造を目指している。15年より「戯曲とは何か」という提題を設け、演劇の可能性に挑戦し続けている。

### お問合せ

愛知県芸術劇場(公益財団法人愛知県文化振興事業団)

広報・マーケティンググループ(武石) 企画制作グループ(山本)

〒461-8525 名古屋市東区東桜1-13-2 Tel 052-955-5506 Fax 052-971-5541

E-mail: [pr@aaf.or.jp](mailto:pr@aaf.or.jp) WEB: <https://www-stage.aac.pref.aichi.jp>





第 22 回 AAF 戯曲賞 公開最終審査会の様子

大 賞(1 作品) | 『とりで』<sup>むらこそ ゆうたろう</sup> 村社 祐太郎

作品概要(応募者原文)は別紙のとおり



**演劇活動のプロフィール**

新聞家主宰。演劇作家。1991 年東京生まれ。作品の特異な上演様態は「読むこと」そのものとも言われる。書くことや憶え繰り返すことを疎外せずに実現する上演を模索中。2019-20 年度公益財団法人セゾン文化財団セゾンフェロー I。2020-22 年度 THEATRE E9KYOTO アソシエイトアーティスト。

特 別 賞(2 作品) | 『往復する点 P』<sup>おうふく てんびー かわべ めぐみ</sup> 川辺 恵

作品概要(応募者原文)は別紙のとおり

**演劇活動のプロフィール**

高校時代、演劇部に所属し、「海恋し」で近畿優秀脚本賞を受賞。京都芸術大舞台芸術学科卒。「Time line の東」で第 21 回 AAF 戯曲賞一次通過。「ラブの餓鬼道」で第 5 回 田畑実戯曲賞受賞。文学座附属演劇研究所所属。

『廃熱バイパス』<sup>はいねつ おうみ なるあき</sup> 近江 就成

作品概要(応募者原文)は別紙のとおり

**演劇活動のプロフィール**

京都で演劇をがんばりたいと思っています。  
例年と毛色の違う昨年の受賞作を見て応募しようと思いました。